

# これからの図書館像 — 地域を支える情報拠点をめざして —

## 役に立つ図書館へと変わっていくために必要な機能

○従来の閲覧・貸出・リクエストサービス等を維持しつつ、新たな視点から取組を実施

住民の生活、仕事、自治体行政、学校、産業など各分野の課題解決を支援する相談・情報提供の機能の強化

- ・相談専用窓口の設置と適切に対応できる職員の配置
- ・相談内容のデータベース化・公表・共有・集約

事例①鳥取県立図書館の蔵書を活用し県内に図書室を置き、司書の支援の下、職員の政策形成に必要な情報の提供、情報発信、情報リテラシーの向上支援。

事例②伊奈町立図書館では、行政やまちづくり（つくばエクスプレス関連）、町村合併等に関する資料を積極的に収集・展示。関連新聞記事を目録データ化しホームページで公開。展示コーナーには、ポスターや地図等でディスプレイを施し、行政資料、図書、雑誌、新聞記事の原本、パンフレット、チラシ、ビデオ等をわかりやすく展示。

事例③静岡市立御幸町図書館では、ビジネス支援サービスとして、起業関連の図書や新聞切抜の展示、データベースや起業情報、経営情報等を提供。また、同一ビルに入居する市の産学交流センターが主催する講座に資料提供したり、利用者を相互に案内するなど連携。

図書館のハイブリッド化—印刷資料とインターネット等を組み合わせた高度な情報提供

- ・パソコンの整備、ネットワークへの接続、商用データベースの活用、蔵書横断検索システムの整備、図書館のホームページの開設、e-ブックの活用
- ・図書館ホームページが地域情報の玄関（ポータルサイト）に。インターネットを活用し設置者を超えた蔵書検索・利用
- ・国立情報学研究所の目録所在情報サービス、国立国会図書館の総合目録ネットワークやレファレンス協同データベースの活用

事例①三重県図書館情報ネットワーク「MILAI」では、一般利用者が自宅のインターネット端末から、県内公立図書館（大学図書館も加入）の蔵書検索を行ったり、県立図書館の資料を最寄りの図書館に取り寄せられる。

事例②光町立図書館では、ホームページ上で、蔵書検索、予約、リクエスト、レファレンスサービス等が可能。携帯電話サービス（検索・予約・貸出延長）も実施。メールマガジン（週1回）による新着資料案内や季節の出来事、ニュース、生活上の話題に対応した資料紹介。

学校との連携による青少年の読書活動の推進、行政・各種団体等との連携による相乗効果の発揮

- ・図書館から行政・団体等に対しては、政策立案支援、広報協力、会場提供等。行政・団体等から図書館に対しては、機能のアピール、来館者増への寄与。このような相乗効果を積極的にPR。
- ・公共図書館と学校図書館等が連携し、資料搬送サービス、相互貸借等を通じた全域サービスの展開

事例①市川市では、市立図書館と学校図書館全体がネットワーク化され、蔵書全体を検索でき、配送車が市立図書館を起点に全校を巡回。

事例②倉吉市立図書館では、図書館職員と中高生ボランティアにより、ヤングアダルト向けNEWS発行。そのほか、中・高生による本の紹介、学校で読み聞かせ指導等実施。

○これらの機能を発揮するために必要な図書館経営の改革

図書館の資源の配分の見直し、職員の意識改革・資質・能力の一層の向上、利用者・利用団体への積極的な広報、利用者の視点にそった弾力的運営、評価等

事例 神奈川県立図書館では、貸出数だけでなく、レファレンス件数等付加価値の高いサービスも評価。利用満足度調査も実施。県民へのPRを意識して報告。

※図書館整備の数値目標について、我が国の住民一人当たりの貸出冊数上位の市町村のデータをもとに、参考として示す。

※職員の資質向上、資格の在り方等については引き続き検討予定

これらの機能が十分に発揮されると

### 地域住民にとっては

- ・職業（新たな知識・法令・規制・制度・経済・資格等）
  - ・生活（健康・福祉・教育・家計等）
  - ・豊かな暮らし（文化・教養・趣味等）
- に関する課題や悩み、不安を解決・解消する助けとなることができる。

### 行政・議会関係者にとっては

- ・政策策定にあたっての先進的事例・他自治体の動向の把握
- ・行政改革・財政改革のための手法の開発
- ・新しい制度や仕組みの普及・周知を進める上での助けとなることができる。

### 学校にとっては

- ・図書資料の定期的配本や集団貸出による学校図書館・教材の充実
- ・読書の時間の充実による読解力の向上や情緒豊かな子どもの育成
- ・選書や資料購入に当たって、司書教諭等に対する支援・協力など学校教育の充実の助けになることができる。

地域や住民にとって役に立つ図書館として存在意義を確立

資料 2